

元旦歓迎イベント「ようこそ仙北市へ！」

仙北市を訪れた観光客の皆さんを歓迎するとともに、冬の仙北市の魅力を紹介し観光PRする歓迎イベントが1月1日、JR田沢湖駅と角館駅で行われました。

田沢湖駅では、着ぐるみの「たっこちゃん」や「なまはげ」に扮した市職員が、秋田新幹線こまちから降りる観光客を出迎えました。駅前では、駅前丁内会のみなさんの協力をいただきながら、つきたてのお餅や銘菓、振舞酒、甘酒、漬物が振る舞われました。



「たっこちゃん」や「なまはげ」が出迎える田沢湖駅



振舞酒は観光客に大好評

角館駅では、観光客を駅前蔵へ案内し、振舞酒や漬物、地元の銘菓などでもてなし観光客からとても喜ばれていました。

今年は雪も降らず穏やかな元旦を迎えましたが、観光客の皆さんは“雪”を期待していたようで、岡山県から観光に来た親子連れは「雪で遊ぶことを楽しみにしてきたので残念」と話し、わずかに積もった雪で雪玉を作って遊んでいました。

スポーツ講演会

仙北市体育協会(会長・菅原陽三)が主催する「スポーツ講演会」が1月13日、西木温泉クリオンを会場に開催され、約70人が参加しました。

秋田県体育協会相談役の大友康二氏を講師に迎え、「人生・スポーツその周辺」と題した講演で、「スポーツは体育と違い教育ではない。ソフトで楽しく、健康を育むものであり、何よりもマナーが大切。誰でも参加して、みんなが満足できるように工夫してスポーツを大いに楽しもう」と話されました。

なお、大友氏は歌の作詞もされ、県内の小学校校歌をはじめ、さまざまなジャンル160曲以上の作詞を手がけ、「西木紙ふうせんの歌」も大友氏が作詞されたものです。



スポーツは、みんなが楽しむものと話す大友氏



気合いとともに寒さを吹き飛ばす寒稽古

寒さを吹き飛ばす気合いで寒稽古

1月14日、実戦空手道武心会(師範・湯澤浩一)の寒稽古が桜木内川で行われ、約100人が参加しました。

角館の神明社で奉納稽古、お祓いを行った後、桜木内川まで全員でランニング。凍りつくような冷たい川の中に入り、真っ赤になった足を踏ん張りながら、気合いの入った大きな声で寒さを吹き飛ばし元気に稽古していました。

稽古終了後には、武道館で餅つきが行われ、つきたての温かいお餅をほおばり、冷えた体を温めていました。

世古寸喜展ご協力のお礼

歳末助け合いの一環として開催しました「世古寸喜展(よこずきてん)」には多くの方にご来場いただき本当にありがとうございました。

昨年12月22日、世古寸喜展世話人会の小林代表より社会福祉協議会の河原田支所長へ、寄付金をお渡しいたしました。世話人会では、来年は今年よりも一層充実して楽しんでいただける展示会が出来るよう目指しております。

皆様の暖かいご協力をよろしく願いいたします。

